

平成 27 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号：4588)

問合せ先 常 務 取 締 役 六反田 靖  
管 理 担 当  
(TEL. 03-5472-1578)

## B 型肝炎ウイルス感染症治療薬の創出に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 7 月 28 日に国立大学法人鹿児島大学と新たに共同研究契約を締結しましたのでお知らせします。本契約に基づき、当社は馬場昌範教授（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属 難治ウイルス病態制御研究センター 抗ウイルス化学療法研究分野）の研究グループと、B 型肝炎ウイルス（HBV）に対する新規感染症治療薬創製に関する共同研究を開始します。

現在、日本国内では約 140 万人が HBV に感染していると推定され、数千億円規模の HBV 関連予算が一般会計及び特別会計を合計すると計上されています。また、アジアを中心に感染者は増加し、世界保健機構（WHO）によると、全世界で 2 億 4000 万人が HBV に感染していると推定されています。

HBV 感染症は、慢性肝炎・肝硬変を経て肝臓がんへ進行します。現在、核酸アナログ製剤及びインターフェロンによる治療が主流ですが、十分に HBV の増殖を抑制できず、その再発が繰り返されて肝臓がんを発症する可能性があります。また、その治療薬を長期服用することが必要であるために、腎毒性やうつ症状等の重篤な副作用が問題となっています。そのため、新規メカニズムによる HBV 感染症治療薬が世界中で求められています。

馬場教授の研究グループと当社は、独自に入手した新規化合物について、抗 HBV 評価システムで用いて候補化合物を選び出すとともに、さらに高活性の化合物を絞り込むことで、HBV 感染症治療薬の開発を進めてまいる予定です。

なお、当社はがん領域の医薬品開発において、肝臓がんの大半を占める肝細胞がんを対象に腫瘍溶解ウイルス OBP-301（テロメライシン）の開発を行っています。肝細胞がん治療薬テロメライシンの開発と並行して、肝臓がんの病原である HBV 感染症の治療薬を開発することで、十分な治療法が確立されていない肝細胞がんの治療並びに肝臓がんの発生抑制に貢献し、医療現場のニーズ充足に寄与することを目指しています。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以 上